

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	18	事業名	国際化事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1「やってみよう」でつながるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市国際交流協会運営事業費補助金交付要綱			2-1-10 国際化事業費	
	事業開始の背景、経緯等	平成4年度にベルギー王国ワテルロー市との姉妹都市友好提携締結による青少年訪問団等を通じての交流や、平成6年度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付している。近年は、在住外国人数の増加により、多文化共生の必要性も高まってきていることから、R1年度から多文化共生基本計画策定に向けた事業を実施している。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可 (両者と協働不可の場合はその理由)					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内に生活する外国人や市民との交流を図りながら、姉妹都市交流や国際交流及び多文化共生に関する事業を推進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 事業参加者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流や多文化共生についての事業への参加を促し、関心や知識を深め、日本人・外国人双方にとって住みよいまちづくりを目指す。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	7,652	5,933	11,452	5,281	5,789
		決算	3,022	3,294	10,365	4,354	
人件費(B)	千円	決算	5,729	5,960	6,881	8,152	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	8,751	9,254	17,246	12,506	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		3,000	5,000	5,500	4,706	5,000
対象あたりコスト(C/D)	千円		3	2	3	3	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
国際交流協会事業参加者総数	人	目標	4,400	3,300	5,000	5,000	5,000
		実績	3,000	5,000	5,500	4,706	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
国際交流や多文化共生事業を具体的に実施しているため、国際交流協会の事業参加者数を成果指標とする。			多文化共生事業の取組が増えるものの、新型コロナウイルスによる事業中止の影響を加味して算出。				
(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 従来から実施している事業に加え、ワテルロー市訪問団との交流事業や、多文化共生の理解を深める事業を展開したものの、コロナの影響で中止した事業もあり目標達成に至らなかった。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・イベント運営は実行委員会形式で行い、これまで関わっていなかった協会員や学生が運営側となり実施した。 ・従来のイベントに加え、ベルギーナイトの実施や、多文化共生セミナーを開催した。
	改善ポイント	(改善が必要な点、改善の方法など) ・運営者の高齢化が進んでいるため、若い担い手を巻き込む工夫が必要である。 ・多文化共生プラン策定に伴い、外国人に対する多文化共生の取組のについて庁内に照会をかける。

事業を構成する事務事業①	国際化事務事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	—	30	30	40	50	
		実績	—					
(2) 【アクションプラン】 多文化共生促進事業数【単年】	回	見込	—	—	3	5	7	
		実績	—					
(3) 多文化共生推進プランワークショップ参加者数	人	見込	—	10	—	—	—	
		実績	—					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> ・多文化共生に関するアンケート調査実施 回収数:日本人 387件/1,000件、外国人 171件/1,026件 (R2年度プラン策定、R3年度～事業実施予定)							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	国際交流協会補助事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	2,850	2,850	2,900	2,900	3,000	
		実績	2,660					
(2) 【アクションプラン】 国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数【単年】	人	見込	2,850	2,850	2,900	2,900	3,000	
		実績	2,660					
(3) 国際交流協会実施事業数	事業	見込	20	20	22	22	24	
		実績	20					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 国際交流協会実施事業: 弁論大会 (12/8)、ホームステイ受入、機関誌作成、日本語教室(木曜日・土曜日 各月3~4回)、多文化共生セミナー(1/26)、語学講座など							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③	姉妹都市事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	40	—	—	300	—	
		実績	376					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> ・ワテルロー市訪問団受入人数 訪問団20人、引率者4人 ・ホストファミリー 10家族41人 ・歓迎会参加者数 113人 ・ベルギーナイト参加者数(市国際交流協会主催) 222人							今後の方向性	改善・見直し

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・市の多文化共生に対する方針を明確にし、市・協会で事業を実施する。 ・市民主体の事業形態とするため、国際交流協会事務局の独立を進める。 ・姉妹都市交流事業の内容を見直し、訪問団派遣以外で効果的な交流方法を検討し、実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) ・令和5年度までに多文化共生推進プランを策定し、事業の必要性や方針を明確にした上で、事業を展開する。 ・令和3年度に国際交流協会事務局が独立できるように、設置場所や協会内等の調整を行う。 ・令和2年度に新たな交流方法をワテルロー市側と調整し、令和3年度から運用する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・中長期目標にもあるワテルロー市との新たな姉妹都市交流の方法について、経費の節減に努めながら進めてください。 ・ワテルロー市との姉妹都市交流について、開催頻度などを検討し、経費の節減に努めてください。
内部意見への回答		